

授業科目名	臨床薬理学Ⅱ(応用)		担当教員	安室 修	科目ナンバリング NB349
選択	開講年次：3年前期	単位：1単位	授業形態：演習15時間		

【授業概要】

薬物治療を主とした特定疾患の事例を中心に、看護ケアに必要な薬理学の理解を深めることができる。事例を通して薬物療法の効果や副作用を分析する能力を修得できる。

【達成目標】

1. 薬物療法の意義や目的について理解できる。
2. 病群ごとの患者事例を通して薬物の効果や副作用のリスクについて理解できる。
3. 看護師の薬物に関するモニタリングの役割について理解できる。

【履修条件】

「臨床薬理学Ⅰ(基礎)」を修得していること。

【授業計画】

- [01] 悪性腫瘍
- [02] 高血圧症
- [03] 糖尿病
- [04] 心疾患
- [05] 脳血管障害
- [06] 精神神経疾患
- [07] 免疫アレルギー疾患
- [08] 感染症

【教科書】

安原一、小口勝司編(2014)：わかりやすい薬理学(第3版)、ヌーヴェルヒロカワ

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

テスト：100%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：疾患について代表的な臨床症状や臨床検査値異常などについて予習する。

事後学習：各章の最後にまとめられている「看護上の留意点」、「学習課題」、「キーワード」を中心に振り返りを行う。特に「学習課題」に関しては、「キーワード」を含めてまとめると効果的な事後学習が可能になる。

また、教科書中の図表を利用して視覚的に薬理作用を理解するとよい。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実施能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

模範解答の提示

【備考】

特になし